

YDS-1

1959年 / 市販車

「国産初のスーパースポーツモデル」として、日本のバイク史に大きな足跡を残した
記念碑的な一台。

流線型を取り入れたモダンで洗練されたスタイル、ヘッドライトと一体化したナセル内に速度計と
タコメーター、トリップメーターを組み込むなど、機能美とデザイン性を両立させていた。
鋼管クレードルフレームに搭載された20馬力の2ストローク・2気筒エンジンは国産初の
5速ミッション、ツインキャブを備え、0~400m 加速16.8秒という群を抜いたスペックを
持っていた。レース用キットパーツも豊富に用意され、オン・オフを問わずさまざまなレース
カテゴリーで活躍した。

YDS-1の登場は、オレンジメタリックの塗装とともに多くのバイクファンに衝撃を与え、
「ヤマハ発動機=2ストロークスポーツ」というイメージが、
20年後の名車 RZ へと続いていく。

YDS-1 は、ヤマハ発動機のスポーツバイクの原点であり、
日本のモーターサイクル史における「スーパースポーツ」
というカテゴリーを確立したことによって、
それを語るうえで非常に重要なモデルとなっている。

